

平成22年6月8日(火)及び12日(土)

ボランティアの方々による植樹活動

6月8日(火)及び12日(土)、雷別地区自然再生事業地でボランティアの方々による植樹活動を行いました。両日とも快晴に恵まれ、参加者の皆さんは気持ちのよい汗を流しました。

8日の植樹活動は、新宗連釧路地区協議会の方々25名が参加しました。普段使い慣れていない鍬を使って、ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、イタヤカエデ、シラカンバ合計400本を植えました。植樹後には、楽しみの一つである、山ウド、ワラビなどの山菜採りを楽しみました。



植栽樹種と植樹方法の説明



快晴下の植樹の様子



新宗連釧路地区協議会の皆さん

12日の植樹活動は、一般公募による釧路市民、標茶高校ボランティア部員など13名が参加して、8日と同様ミズナラなど400本を植えました。植樹後には、雷別地区自然再生事業で森林再生の目標としている天然林や郷土樹種を紹介している遊歩道の散策を行い、植樹で疲れた体を癒しました。



遊歩道の散策で疲れを癒す



植樹活動に汗を流す



公募ボランティアの皆さん

両日とも、雷別地区自然再生事業についても説明し、植樹の必要性を学んでいただきました。

(自然再生指導官 朝倉)